

「CTFワークショップin名古屋」を開催

＜学生等がゲーム感覚でサイバーセキュリティを体験＞

東海総合通信局（局長 北林 大昌）は、令和5年12月10日、TKP名鉄名古屋駅カンファレンスセンターにて経済産業省中部経済産業局との共催により、サイバーセキュリティに関心を持つ学生を対象とした「CTFワークショップin名古屋」（※）を東海地方で初めて開催し、対面とオンラインを合わせて21名が参加しました。

※ CTF：Capture The Flagの略で旗取りゲームのことです。専門知識や技術を使って、隠された答えを見つけ出し、獲得した合計点数を競います。

本ワークショップは、国立研究開発法人情報通信研究機構 ナショナルサイバートレーニングセンター長 園田道夫氏を講師に、「サイバー攻撃のトレンド」と題した講義の後、CTFを実施しました。

今回のCTFは、50点の問題と比較的難易度の高い100点の問題があり、高得点狙いにするかあるいは、「暗号に関する問題」や「ネットワークセキュリティに関する問題」等、自分の得意な分野から着実に得点を重ねていくかなど、1時間30分の制限時間の中で各自の戦略も大事な要素となりました。

優勝者は接戦の末、29問中17問（1400点）正解のオンライン参加の大学生でしたが、参加者の多くが大学・大学院生の中で高校生の参加があり、大学生等に劣らない成績を残していました。

東海総合通信局では、引き続き、若年層のサイバーセキュリティに関する意識向上に向けて取組を進めていくこととしています。

【問合せ先】電気通信事業課 052-971-9403



【野田電気通信事業課長からの主催者挨拶】



【講義を行う園田道夫講師】



【CTFの実施方法の説明の様子】